

鍼灸マッサージ治療を健康保険で受診できるよう

医療を考える会



住所:渋谷区代々木 2-39-7メゾン代々木201

TEL:03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メールアドレス : iryō-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

発行元 : NPO 法人 医療を考える会

TPP 問題の講演会が開催されました

7 月 1 日、全国保険医団体連合会事務局次長の寺島正之さんをお招きして、TPP 問題の学習会をもちました。新宿家庭クラブ会館会議室に集ったのは 15 人、1 時間半の寺島さんのお話を聞き、質疑応答も含めて 3 時間近く熱心に学びました。

寺島さんのお話は、「TPP で健康保険制度が壊される」と題した、TPP の本質から、その医療への影響までをたくさんの情報をもとにわかりやすく説明されたもので、交渉事項さえ明らかにされないという危険きわまりない協定であることを余すところなく解明して下さいました。



TPP のねらいは「アメリカの制度の押しつけ」にあるわけですから、医療保険制度もアメリカのように「基本的には民間の医療保険」「無保険者が 4600 万人以上」という、医療難民が生まれる状況になること、混合診療や営利企業の病院運営などがすすむことなど、国民健康保険制度が実質的に壊されかねないことが示されました。驚いたことに、そのことを先取りして、「総合特区」制度のもとで、すでに内外の資本が医療機関の進出の動きが始まっているこ



とでした。報告の詳しい内容は、寺島さんの詳細な報告レジュメを別添いたしましたので、ご覧いただければと思います。

東洋医療の健康保険適用をめざす私たちですが、その実現のためにも、医療や健康保険制度そのものにも関心を向けないと、国民の医療・健康を守るしくみが土台からほりくずされかねないことを学ばされた学習会でした。

平田 啓



TPP 問題の講演会に参加して

山西 俊夫

TPP 問題の意図するところはいったい何なんでしょうか？

「第三の開国」とまで当時の総理大臣に言わしめた、日本の TPP への参加問題を、日本国民が受けることになる利害関係を公開することなしに、政府とマスコミが大合唱して扇動する中で、私が初期の頃から批判的な意見を耳にしたのが、当会の諸先輩達からでした。その点を振り返れば、NPO「医療を考える会」のメンバーの方々の考え方は非常に冷静でぶれない、正鵠を射たものであると自負しております。

最近の消費税問題で陰に隠れたかっこの TPP 問題ですが、今回、寺尾先生の講演会に出席させていただいて、TPP の意図するところが明確になり、さらに今まで知らなかった盲点が浮き彫りになり、目からうろこが落ちる思いをしたというのが偽らざる感想です。この点で岩尾先生の分析の慧眼さには頭が下がりました。

当日出席した我々が、いかに周囲の方々にレジメの内容を広めていくかが課題だと認識しております。ちなみに私は、会員である家族とレジメを基にしてミニ説明会を持ちましたが、幸い二人とも熱心に耳を傾けてくれました。



先生が用意されたレジメの構成についての感想ですが、起承転結が明快であり、初心者にとって非常に分かりやすい内容にまとめられていることに感心しました。同時にレジメのまとめ方の教則本として参考になるということでした。

まず、冒頭から先生は「TPP のターゲットは日本」といきなりストレートに投げかけられました。その理由として、交渉参加国の中で国民総所得の総計に占める割合が日米両国で 82% (米国 61.6%、日本 20.6%) を占め、米国自身の雇用や成長のために TPP を利用して日本の市場開放に拍車をかけることが狙いであると説明されています。

アメリカ人は戦略的で、自国の利益をگری押しすると同時にある意味正直です。オバマ大統領 (TPP 批判の急先鋒である N 准教授は、おやじギャグを連発することでも有名ですが、オバマをオバカと言い換えていました) は、TPP で輸出を増やすことで

自国内の雇用を2倍創出できるとわざわざ訪日時に明言しています。

さらに用心すべきなのが、会場から質問があったように、TPPの交渉文書などは4年間公表されない、つまり、その間日本国民は、沖縄返還交渉の時と同じように、つんぼさじきに置かれるということです。まるで為政者は米国の意をくむ先兵となって、国民に、見ざる、言わざる、聞かざるを強要しているかのようです。

2番目に TPP が医療にもたらす影響として、先生は混合診療の解禁、医薬品の価格が高くなる、営利企業が病院経営に参入する可能性に言及されています。

3番目に、医療制度が破壊されたら後戻りできない2つの仕組みとして挙げているのが、

1) ラチェット条項 (=逆進防止装置) 一旦、規制を緩和すると、何があっても元に戻せないという規定。韓米 FTA では営利病院に認める法律を廃止することができなくなった。

2) ISDS 条項 = 「投資家対国家の紛争解決条項」(国会で佐藤ゆかり自民党議員が質問した時に、ドジョウ総理は知らなかったと答弁した。) 投資先の国が行った施策・規制によって、不利益を被ったと企業や投資家が判断すれば、米国の息のかかった世界銀行傘下にある「国際投資紛争解決センター」等に裁判に訴えることができ、審理は非公開で、上級の仲裁機関に訴えることは不可。

4番目に、先生は、混合診療(公的保険医療と公的保険外の自由価格医療の2階建て)がなし崩し的に拡大され、自由化へ向かうことになり、TPP参加国の企業・投資

家の「権利」が、国民の権利の上に位置づけられる結果、TPPには日本の美德である国民皆保険制度を壊す「仕掛け」が入っている、と警告を発しておられました。同時に、アメリカで国民皆保険を目指す人たちから、「日本のいい制度を崩すな、崩したら元に戻すのは不可能だ」といわれている例を紹介されました。

最後に、先生は、世界の主要製薬企業の上位10社中5社がファイザー、メルク、ジョンソン・アンド・ジョンソンといった米系企業が占めている事実を表で紹介していました。

つまり、これらの巨大資本が、自分たちの利益極大化のために、米国政府や役人を動かしているという図式を暗に示してくださいました。

私はそれに加えて、日本にも自国民の利益よりも外国資本の利益に加担する売国奴が暗躍している延長図式を描いています。

久しぶりに内容が充実した素晴らしい講演会でした。関係者の方々に深く感謝いたします。



小石川植物園散策のご案内

日時:9月23日(日) 10:30~15:00

集合:10:30 正門前

案内講師:緒方勝行氏(日本漢方協会 常務理事)

持ち物:各自昼食・飲み物をご持参下さい

交通案内:都営地下鉄三田線 白山駅下車 徒歩約10分

東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩約15分

都営バス(上60)大塚駅~上野公園線 白山2丁目下車 徒歩約3分



東京都文京区白山3丁目7番1号 (Tel. 03-3814-0138)

入園料:大人(中学生以上)330円、小人(小学生児童)110円

雨天中止です。少雨であっても中止します。入園料は各自お支払い下さい。

参加申し込み: 詳細連絡及び資料を事前に送付しますので、参加希望者は必ず事前にご連絡下さい。

9月18日(火)×切

ニュートンのリンゴ

物理学者 S. I. Newton (1643-1727)は、リンゴの実が木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したという逸話は有名です。Newtonの生家にあったリンゴの木は、接ぎ木により各国の科学機関に分譲されていますが、本園の株は、1964年に英国物理学研究所所長サザーランド卿から、日本学士院長 柴田雄次博士に贈られたものです。



～鍼灸・マッサージにかかり易くする働きかけ～

東京保険医協会との懇談について

かねてから申し入れしていましたが「東京保険医協会」との懇談の日程が決まりました。下記の通りです。

- 日時…10月23日(火) 午前10:30より 1時間位
- 会場…東京保険医協会 事務所
新宿区西新宿3-2-7 パシフィックシティ西新宿4F
(日程近くになりましたら地図でお知らせします)
- 内容…病気の治療や健康維持・増進のため、鍼灸・マッサージにかかりたくても希望するようかかれない困難な実情を聞いていただき、「同意書」も、もっと気軽に書いてもらえるよう、理解を深めていただく一機会とする。

*東京保険医協会は、医師会員5000人余りの会。多くの会員は、健康保険を用いて現代医療を良心的に実践されておられますが、東洋医療についての考えはマチマチです。私達は、医療の専門家に学ぶべきところは学び、信頼関係を築いていかれたらと思います。当日は事務方が対応して下さいます。今から都合をつけ、ご参加をお願いします。

(田中 榮子)

今後の予定

- 9月23日(日) レクリエーション 小石川植物園散策
- 10月23日(火) 東京保険医協会との懇談会
- 11月18日(日) NPO医療を考える会 総会 場所未定

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

日本も亜熱帯気候になったのかと思いたくなるほどの日射ですね。最近、秋葉原では熱中症測定器なるものも出現しています。どの家もゴーヤのグリーンカーテンetc

で涼しさを工夫されているのが目につくようになりました。でもこの暑さもあと2か月たらずと考えると、今のヒート現象を楽しまなくっちゃ(?)と思い直します。ほんの気休めですが。

今回はT P P問題の講演会特集号としました。心に響くいい講演会でした。

(山西)